



京浜地区NEWS

発行：2011年10月27日（木曜日）
発行：QCサークル関東支部京浜地区

日野自動車本社工場 交流会 号

～ 今こそ、未来に向けて交流を広げよう ～

第5318回 事業所見学交流会 開催

QCサークル京浜地区 第3会場は日野自動車・本社工場さんで



司会から開会挨拶まで大活躍の二瀬副幹事長



歓迎の挨拶と開会挨拶を瀧沢前幹事長



工場紹介とサークル活動紹介を山下さん



表彰委員長を中野顧問



地区事務局の中中さん

小春日和という表現がぴったりの暖かな秋の一日、10月25日（火）午後1時から、京浜地区主催第5318回事業所見学交流会の第3会場である日野自動車本社工場の交流会を開催しました。

昨年度の地区長会社でもある日野自動車さんの会場は、普段目に見ることができないトラックの生産ラインを見学できるとあって毎回好評の会場です。

運営関係者や工場関係者の聴講者を含めて90有余名が参加した大盛況の交流会となりました。

昨年度幹事長を務めた日野自動車の瀧沢さんが歓迎の挨拶と開会挨拶を行い、早速発表が始まりました。

コマツ物流さん、コニカミノルタ総合サービスさん、日産自動車横浜工場さん、ジーシーさんの4つのサークルさんが事例発表を行いました。

発表終了後には日野自動車本社工場の事業所案内ののち、工場見学、工場のQCサークル活動紹介などが行われました。

最後に審査結果発表、表彰、閉会の挨拶となり、この日の行事を終了しました。

《未来に向けて新たな価値創造に挑む京浜地区》

【1番目】コマツ物流 CKDサークル



社内だけではなく、社外も巻き込んで大きな成果を上げました。



発表者



アシスタント&パソコン担当

不況など外的要因で荷量が激減し、単独シッパーでの貨物ではコンテナ積載効率が極端に悪化したことから「複数シッパー合積みによるコンテナ積載率向上活動～特定輸出申告制度の活用～」をテーマに行った活動を紹介しました。

「特定輸出者申告制度」の認証取得・活用で複数シッパーの貨物合積み+物流リードタイム等の改善を実施し、コンテナ積載率の向上を達成した活動でした。



発表終了後には表彰委員による講評が行われ、記念品が贈られました。

【2番目】コニカミノルタ総合サービス スクラムサークル



大幅減員の生産ラインで作業効率化を徹底しました。



発表者



パソコン担当

暗室の中にあるレントゲンフィルムの生産ラインのスリッター工程に於けるスタート前確認時間の短縮に取り組んだスクラムサークルさん、発足当初にはいた7名のメンバーが4名に減り、作業範囲が増えたことから、メンバー全員で問題点を洗い出し今回の発表テーマに取り組みました。

メンバーが多い時には見えなかった不具合点に着目し、慣れない作業者と共に取り組んだ改善事例でした。



発表後は表彰委員長も講評を行いました。

《未来に向けて新たな価値創造に挑む京浜地区》

【3番目】日産自動車 横浜工場 GT-R Vサークル



最高のエンジンをテストしている誇りが感じられました。



発表者



パソコン担当

日産自動車の横浜工場のGT-R Vサークルさん。日産自動車のフラッグシップ、ポルシェを超えた車として評価の高いGT-R用のエンジンのテストを担当するこのサークルさん、他のエンジンテストと違い530馬力、しかもトルク624 N.m を全数で保証するため、量産型にはない過酷なテストを行っていますが、その中でのサークルの改善等は他では経験できない貴重な事例でした。



講評の後には、発表者に記念品が贈られました。

【4番目】ジーシー セメント工程改善 プロジェクト



歯の接着剤という特殊な材料を知る発表でした。



発表者



パソコン担当

歯科医療機器メーカーのジーシーさんの主力生産工場として、歯科では欠くことのできない「接着材料」の製造を担当しているセメント工程改善プロジェクトの皆さんの活動でした。

製品の製造効率と品質を上げ、お客様に安全と有効性をお届けするために、日夜努力をしています。

「品質工学」も取り入れて、工夫やアイデアを駆使した活動でした。



発表後は表彰委員が講評を行いました。

《未来に向けて新たな価値創造に挑む京浜地区》

《事業所見学》 大型トラックの製造ライン（撮影禁止のため今年の写真はありません）



日野自動車本社工場の見学風景（写真は日野自動車さんから提供頂きました。）

△ 普段目にする事のないトラックの組立て風景



△ Q Cサークル活動を山下さんにご紹介頂きました。



案内役の指示に従って出発！



工場見学の第1班を案内頂いた北川さん



工場見学の第2班を案内頂いた青木さん



第3班を案内の瀧沢さん

1時間程の工場見学後には、早速、質問の時間があり、「ヒューマンエラーは付き物だと思うが、どう防止しているのか？」、「トルクレンチの二重締めは無いのか？」といった具体的な質問が飛び交い、熱心に質疑応答が行われました。

《未来に向けて新たな価値創造に挑む京浜地区》

《記念撮影》



今回は全サークルさんに「優秀賞」が授与されました。



審査結果を発表する中野表彰委員長。



講評を行う表彰委員の村本さん。



表彰委員の皆さんは、参加者が工場見学に出かけている間に別室で発表の審査を行いました



講評を行う表彰委員の中村さん。

《未来に向けて新たな価値創造に挑む京浜地区》

《事業所見学交流会・日野自動車会場》開催の裏側



△ JR中央線の日野駅前に集合した皆さんは、日野自動車さん自慢のバスに乗って会場に到着しました。

工場見学では発表会場から広大な工場内を歩くこと約1時間、会場へ戻る時にもこのバスに乗せて頂きました。

大会終了後には日野駅までの送迎にもこのバスを出して頂きました。



△ 司会から閉会挨拶まで一番出番の多かったのがジーシーの二瓶副幹事長。



△ バスの到着と同時に参加手続きをされる参加者の皆さん。

日野自動車の中川さん（京浜地区幹事）が受付を担当。中川さんは今回の日野自動車さんの事業所見学交流会の立役者です。



△ 今年度の京浜地区の成否を握る前田建設工業の事務局・今中さんです。

《未来に向けて新たな価値創造に挑む京浜地区》

NEWS制作：地区顧問・前川恒久
文責：京浜地区事務局・今中智恵